

第1回 整形外科境界領域研究会～emergency ortho plastic セミナー～

日時：平成26年7月8日（火）19:00～21:00

場所：KMMビル4階会議室

共催：KCI（株）・メンリッケヘルスケア（株）

<症例検討会>

形成外科・救急部とともに、外傷の初期診療、軟部組織に対する治療方針、創傷被覆に関する最新の知見などをテーマとした症例検討を行いました。各科それぞれ1例ずつ症例を呈示して頂きながら、忌憚のない各科の意見を述べて頂きました。垣根を超えた討論が実現出来てとても有意義な検討会になったと思います。

<ミニレクチャー>

四肢外傷におけるVACシステムの効果的な治療法：善家雄吉

創傷被覆材の基本的な考え方：安田浩

<VACハンズオン>

創傷モデルを用いた貼付テクニックの実際

ミニレクチャーとその後の質疑応答が盛り上がり、ハンズオンの時間があまり取れませんでした。参加者の皆さまの反応も良好で成功裏に終わりました。

この研究会終了後に参加者の方より、是非とも第2弾をとという声があがりました。形成外科や整形外科の垣根を取りはらった新たな会の結成が望まれました。近隣の先生方たちも潜在的にこの「orthoplastic」という分野の重要性を感じられていたのではないかと思います。

そのような状況の中、産業医大整形外科 酒井昭典先生、形成外科 安田浩先生が中心となり、北九州地区でご活躍の先生方に世話人をお願いして「北九州 Ortho Plastic セミナー」が立ち上がりました。顧問に熊本機能病院 中島英親先生、世話人の一人に健和会大手町病院 酒井和裕先生という「日本マイクロサージャリー学会」の主催歴もある大御所も迎え入れ、事務局を産業医大整形外科に構え、[第1回 北九州 OrthoPlastic セミナー](#)が開催されることとなりました。